

平安朝文学研究会

2017年度第2回 研究発表会

日 時 2018年3月3日(土) 15:00~17:15

会 場 早稲田大学 戸山キャンパス(文学学術院) 39号館5階 第五会議室

○ 研究発表(15:00~16:00、16:15~17:15)

戸澤 紫穂(早稲田大学大学院 文学研究科 修士課程)

『篁物語』の享受 ——『小野篁恋釣船』を中心として——

『篁物語』の伝本は近世には流布しなかったと考えられてきた。しかし、十八世紀中期の浮世草子『小野篁恋釣船』では、『篁物語』にしか描かれていない話型である「妹型」を踏襲していることから、近世においても『篁物語』が享受されていた可能性を指摘する。

川村 卓也(早稲田大学大学院 文学研究科 博士後期課程)

渤海国王大嵩璘からの「王啓」・「告喪啓」について

本発表では、延暦十五年(七九六)四月に伝えられた、渤海国王大嵩璘からの「王啓」・「告喪啓」(『類聚国史』収載)を話題にする。両書簡の文面が敦煌書儀に則ることを述べ、新訂増補国史大系での校訂本文や、嵩璘の世系をめぐる先行研究に修正を迫りたい。

○ 懇 親 会(17:40頃～) 会場 かわうち TEL 03-3205-4129(新宿区西早稲田 2-3-22)

※どなたでもご参加になれます(無料)。

※当日は、同会場で14:15より委員会を開く予定です。

◎お問い合わせ 平安朝文学研究会事務局(早稲田大学文学学術院 陣野英則研究室内)

E-mail: jinno@waseda.jp